

令和5年度 大阪市立阿倍野防災センター事業報告書

施設概要

施設名	大阪市立阿倍野防災センター
所在地	大阪市阿倍野区阿倍野筋3丁目13番23号
団体名	一般財団法人大阪消防振興協会、株式会社ノムラメディアス大阪事業所、ジェイ・アクシス株式会社 共同事業体
代表者指定管理者	一般財団法人大阪消防振興協会
代表者	一般財団法人大阪消防振興協会 理事長 小西 一 功
主たる事務所の所在地	大阪市西区江戸堀1丁目24番18号

1 指定管理業務の実施状況

(1) 管理運営方針

阿倍野防災センター事業は、市民や企業の防災担当者等に災害時に必要な知識と技術を提供し、災害による被害の軽減につなげることが目的であり、共同事業体のそれぞれの専門性とノウハウのすべてを結集し、消防局が運営方針に掲げる市民が安心して暮らせる「災害に強いまち・安全な都市」の実現に向け、ともに取り組むことを方針としています。

(2) 職員の配置状況

ア 一般財団法人大阪消防振興協会

体験学習・研修訓練・企画広報・施設管理を効率的に運営できる職員を下記のとおり配置しました。

(ア) 防災センター長（協会職員）	1 名
(イ) 防災センター長代理（協会職員）	1 名
(ウ) 管 理 担 当（協会職員）	1 名
(エ) 防災学習担当（協会職員）	1 名
(オ) 防災研修担当（協会職員）	1 名

イ 株式会社ノムラメディアス大阪事業所

展示設備の定期保守点検や故障等の不具合発生時に、設備機器専門スタッフのうち必要人員を派遣し対応しました。

ウ ジェイ・アクシス株式会社

アテンド・スタッフを常時7名の配置で対応しました。

(3) 施設管理状況

ア 建物管理

建物施設及び防災センター周辺の維持管理については、年度協定書に基づき適正に管理しました。

イ 体験施設管理

年度協定書に基づく定期点検及び日常点検を実施しましたが、重大な不具合等はありませんでした。

ウ 関係機関との連携

- (ア) 事務担当者会議等において、複合施設あべのフォルサ全体の施設管理として連携強化に努めました。
- (イ) 施設管理等の連携及び防火・防災対策として実施した自衛消防訓練〔令和5年12月12日(火)及び令和6年3月18日(月)〕において、防災活動の専門家として指導、アドバイスを行いました。
- (ウ) あべのフォルサ合同で連携し毎月1回庁舎周辺の清掃活動を行い、環境改善による職場づくり、まちづくりに努めました。
- (エ) 防災関係機関（海上保安庁・自衛隊・気象庁等）とのネットワークを構築し連携強化に努めました。
- (オ) 障がいをお持ちの方の対応について見直しを図りました。

2 新型コロナウイルス感染予防対策

(1) 防災体験学習エリア

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、感染状況及び政府、大阪府・大阪市の方針により学習エリアの展示場及びコース内容、所要時間、人数等に制限を設けて実施していましたが、令和5年5月8日から「5類」に引き下げられたことにより、顔認証システムでの検温及び手指消毒は同日から来館者の任意とし、従来の内容による体験コースを再開しました。

継続して行った感染予防対策は次のとおりです。

ア アルコール自動手指消毒機を各エリアに設置しました。

イ 施設内の各機器は定期的に消毒を実施しました。

ウ 空気清浄機3台を運用し施設内の換気等に努めました。

エ 「応急救護コーナー」で使用するネクタイ、タオル等を定期的に洗濯、消毒し、清潔保持に努めました。

オ 職員及びアテンダントは、検温を始業前・中間・終業時に実施し健康管理に努めました。

(2) 防災研修訓練エリア

令和5年5月8日から「5類」に引き下げられたことにより、顔認証システムでの検温及び手指消毒は同日から来館者の任意としました。

3-1 防災体験学習エリア利用状況

- (1) 開館日数 300 日 (内臨時開館4日間)
- (2) 休館日数 66日
- (3) 来館者数 70,326人

月別来館者数

月	来館者数(人)	開館日数(日)
4	2,936	25
5	5,803	25
6	5,698	25
7	6,399	26
8	7,241	29
9	6,536	25
10	5,938	26
11	6,503	24
12	4,952	23
1	6,058	22
2	7,010	24
3	5,252	26
計	70,326	300

一日の稼働時間 8 時間
延べ稼働時間 2,400時間
一日平均利用者 234.4 人
一時間平均利用者 29.3 人

令和5年5月8日から「5類」に引き下げられたことにより、新型コロナの影響も少なく、各コースの体験者が大幅に増加しました。
前年度と比較すると、35%増加しました。

3－2 防災研修訓練エリア利用状況

- (1) 開場日数 315 日
- (2) 来場者数 24,597人

月別来場者数

月	来場者数(人)	開場日数(日)
4	1,692	24
5	2,894	28
6	2,128	29
7	1,921	26
8	2,855	27
9	1,804	26
10	2,097	28
11	1,923	28
12	1,780	25
1	1,576	22
2	2,068	29
3	1,859	23
計	24,597	315

甲種防火管理新規講習	7,758	人
防火・防災新規講習	6,801	人
甲種防火管理再講習	0	人
教育担当者講習	0	人
自衛消防業務新規講習	4,738	人
自衛消防業務再講習	1,219	人
普通救命講習	554	人
消防局事業	273	人
イベント等	2,526	人
使用許可に係る研修会等	728	人
防災設備室等利用	0	人

前年度(24,768人)と同等の来館者となりました。

4 成果指標の達成状況

大阪市立阿倍野防災センター管理業務基本協定書第3条に基づく成果指標の達成状況については次のとおりでした。

成果指標	達成度
防災体験学習エリア及び研修訓練エリア体験者のうち、「助かる力、助ける力が身に付くような知識技術を習得することができた」と答えた体験者の割合を全体験者の80%以上に保つこと。	98.3% *アンケート回答者数 5370人のうち『思う(3810人)、やや思う(1460人)』と答えた人合計 5270 人

上記達成度のとおり、来館者からは非常に高評価を頂きました。

5 実施事業・自主事業

(1) 主なイベントの開催

ア 「パパ・ママ応急手当教室」

育児中のお父さん、お母さん等を対象に心肺蘇生AEDの使い方、異物誤飲、止血など応急手当の普及に努めました。

令和5年6月24日、9月23日、12月2日、令和6年1月21日、3月16日 計49人参加

イ 「キッズ&ユース・ファイアーイベント」

将来の地域防災を担う人材の育成を図ることを目的に開催しました。

令和5年5月3日～令和5年5月5日 計2,300人参加

ウ 「ローリングストック推進の防災講話&防災クッキング」

備蓄に関する知識を養い、自宅でできるローリングストックの考え方を理解してもらいました。

令和5年7月15日、令和5年 11月11日 計61人参加

エ 「防災クイズチャレンジ」

防災クイズに広く参加してもらい、来館者に防災の知識を深めてもらいました。

令和5年7月22日～7月23日 計204人参加

オ 「あべのタスカル・サマーイベント2023」

消防局、自衛隊、海上保安庁、大阪管区气象台、環境局、阿倍野区金塚連合振興町会の協力のもとコラボイベントを開催し、各機関の最前線での活動状況等の理解を深めてもらいました。

令和5年8月5日～令和5年8月6日 計1,212参加

カ 「防火・防災かたりべの会」

元消防職員が、様々な災害活動を通じて得た体験を来館者に語りつなぎ防火・防災について考えてもらう機会を設けました。

令和5年8月24日、9月4日、10月17日、11月9日、12月14日、令和6年1月24日
2月9日、3月29日 計82人参加

オ 「シルバーエイジ・ファイヤーイベント」

高齢化社会に入り、独居高齢者世帯が増える中で火災や自然災害等から身を守るための普及啓発動画を作成しホームページで配信しました。

令和5年9月16日～令和5年9月18日

ク 「ストーブ等の危険を知ろう」

厳冬期を迎えストーブが出火原因の火災が増加する前に、ストーブの危険性を再認識していただき、火災等の事故防止について考えて頂く機会を設けました。

令和5年12月16日～令和5年12月24日

カ 「スプレー缶の怖さを知ろう」

スプレー缶の爆発を実験的に再現することにより危険性を認識してもらい、火災等の事故発生の防止について学習してもらいました。

令和6年2月12日 34人参加

(2) 防災特別展等の開催

ア 「防災週間特別展」

9月1日の「防災の日」を中心とした防災週間に合わせて、地震、台風等の自然災害に備えて、防災意識の向上を図りました。

令和5年8月30日～令和5年9月5日 計1,301人

イ 「津波防災の日・世界津波の日」特別展

11月5日の「津波防災の日・世界津波の日」にあたり、今後発生することが危惧される南海トラフ巨大地震等に備えて、防災意識の向上を図りました。

令和5年10月30日～令和5年11月5日 計1,551人

ウ 「防火・防災図画展」

大阪市消防局に優秀・佳作に選ばれた作品を展示し、子供たちの防火防災意識の向上を図りました。

令和5年11月2日～令和5年11月21日（休館日除く） 計5,895人

エ 「防災とボランティア週間」

市民の自主防災意識の向上及び防災ボランティア活動の普及を啓発しました。

令和6年1月15日～令和6年1月21日 計1,337人

オ 能登半島地震パネル展示

令和6年1月18日～能登半島地震パネル展示を実施し、地震の状況と緊急消防援助隊大阪府隊の活動状況について紹介し、防災意識の向上を図りました。

(3) 報道機関等からの取材対応

各報道機関への取材協力

4 件

情報誌への協力

5 件

収 入 合 計 (A)		85,534,310
項 目	業 務 委 託 収 入	84,902,455
	自主事業1収入（防災用品販売手数料、その	367,195
	自主事業2収入（自動販売機手数料）	264,660
支 出 合 計 (B)		84,811,837
項 目	人 件 費	54,030,949
	物 件 費	30,780,888
	水 道 光 熱 費	10,683,890
	賃 借 料	974
	通 信 費	737,516
	消 耗 品 費	1,117,594
	広 告 宣 伝 費	0
	外 注 費	11,097,045
	設 備 ・ 備 品 費	192,500
	そ の 他	6,951,369

7 その他

(1) サービスの向上

ア 体験コースの充実

- (ア) 障がいをお持ちの方や外国語を母国語とする方の対応として、日本語・英語・韓国語・中国語の文字や絵が入ったA4案内版を作成し、より体験しやすくしました。
- (イ) 地震体験について、地震体験前の説明をビデオ映像と解説とし、より理解しやすくしました。

イ 内水氾濫のDVD「内水氾濫の予備知識」を作成し、救護の部屋などで上映を行い、来館者に学習していただきました。

ウ 体験記録カードの発行

来館者の利用促進策として体験記録カードを発行し、来館時にもらえるスタンプが5個たまれば記念品を贈呈しました。

エ「タスカルぶんこ」と称して、防災に関する参考本や絵本などを置き、広く来館者に読んで頂きました。

オ「避難所における感染防止対策」のパネルを作成し展示しました。

カ 夏休み等来館者が多数見込まれる期間に臨時開館を行い、来館者のニーズに対応しました。

キ 指導員全員が、防災士等の資格を取得し市民からの質問等に対応しました。

ク 歩行困難などの来館者に対して、車いすの貸し出しを行いました。

(2) 管理経費の節減

来館者の状況により、照明器具や空調機のこまめな電源オフに努め、消費電力の節約に努めました。

(3) 施設内安全管理及び衛生管理の向上

ア 入館時、来館者の検温及び手指消毒を行いました。

イ 手指消毒液容器を各エリアに設置しました。

ウ 施設内の各機器は定期的に消毒を行いました。

エ 抗菌・抗ウイルスコーティング済みの機器を適切に管理しました。

オ 空気清浄機3台を運用し施設内の換気等に努めました。

カ 「応急救護コーナー」で使用するネクタイ、タオル等は定期的に洗濯及び消毒を行いました。

キ 障がいをお持ちの方でも安全にご利用いただけるよう、バリアフリー等について点検しまし

(4) 利用者からの苦情・意見等

特記事項なし

(5) 研修実績

ア 人権研修・接遇研修

人権研修は、2回 接遇研修は、2回実施し、全ての職員が受講しました。

イ 教養研修

(ア) アテンダントの技術向上研修を4回実施し技術の向上を図りました。

(イ) 国内での災害発生時には、防災情報の共有化を図りました。

(ウ) 手話教室を定期的開催し、聴覚に障がいをお持ちの方へのスムーズな対応が図れるように努めました。

ウ コンプライアンス研修

防災センター長が必要に応じて実施しました。

(6) モニタリングの実施状況

ア コース体験後にアンケートを実施し、コース体験者の満足度等の把握に努めました。

イ ご意見箱を設置し、来館者の意見・要望等を受け満足度の向上に努めました。

(7) 個人情報保護への取組状況等

ア (一財)大阪消防振興協会個人情報保護規程の遵守

イ (一財)大阪消防振興協会個人情報保護規程取扱要綱に基づく事務処理の徹底

ウ 申込書等の個人情報については、事務室の施錠保管庫に適切に保管

エ その他

- ・ (一財)大阪消防振興協会コンプライアンス規程及び要綱の制定(平成25年10月1日)
- ・ (一財)大阪消防振興協会内部通報に関する要綱の制定(平成25年10月1日)
- ・ (一財)大阪消防振興協会インターネット及び電子メール適正使用に関する要綱等の制定(平成25年10月1日)

上記のとおり報告します。

指定管理者	所 在 地	大阪市西区江戸堀1丁目24番18号
	商号または名称	一般財団法人大阪消防振興協会
	代表者氏名	理事長 小西 一功
	所 在 地	大阪市浪速区難波中2丁目10番70号
	商号または名称	株式会社ノムラメディアス大阪事業所
	代表者氏名	事業所長 富林 健二
	所 在 地	愛知県あま市七宝町川部出屋敷69番地
	商号または名称	ジェイ・アクシス株式会社
	代表者氏名	代表取締役 赤羽 徹